



春を告げる
いとよ釣りの風景

三月、弥生の風が吹き、雪解けの頃、この辺の川に産卵のためイトヨがのぼってきました。うぐいすが春を告げる鳥なら魚ではイトヨかもしれません。イトヨはトゲウオ科の魚で、新潟など北陸では「イトヨ」と呼ばれるのが普通ですが、その姿からハリウオ、トゲウオなどとも呼ばれています。二月下旬から三月下旬にかけて川へのぼってきて、雄が巢をつくり、雌がそこに産卵し、卵のふ化とふ化後しばらくは雄が保護します。自然の理にかない、雌雄の共同作業で子育てが行なわれるのですね。六月から七月まで巢の中で生活し体長2〜3cmに達してから巢を出て海へくたつていきます。体長8cmほどに成長してまた次の春、川にもどってきます。

人口のうごき
(60.2.1 現在)

男	5,114 (±0)
女	5,519 (+5)
計	10,633 (+5)
世帯数	2,497 (+1)